

UA | Housing & Urban Analytics Lab.

住宅・都市解析研究室 募集人数：6人

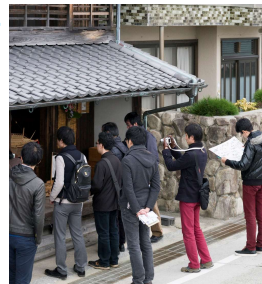
2025年説明会：4/11(金)、4/15(火) 12:15-12:45 @806号室+Zoom

問い合わせは西 特任講師 (hayatonishi@g.ecc.u-tokyo.ac.jp) まで

住宅市場や居住者の意識などの住宅に関する事象や、都市で起こる現象の空間的特性・時間的変化を研究対象としています。得られた結果から、新たに見つかった因果関係の指摘・将来予測・政策評価や政策提言を行います。研究テーマは必ずしも定量的なものに限られません。

解析研の特色

- ☑豊富な研究設備：解析に必要なデータやツール類を豊富に取り揃え、必要なマニュアル類も所蔵しています。
- ☑気軽に相談できる環境：院生室には学部生も出入りでき、研究について自由に議論することが推奨されています。

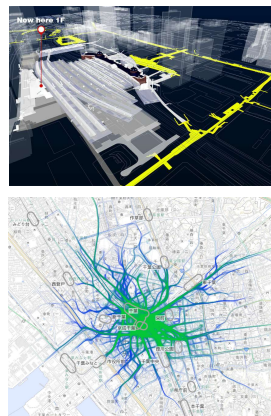


卒業研究の流れ

学部生は夏学期中に自分の研究テーマを見つけて、データの収集・調査に向けた準備を進めます。11月頃まで隔週の頻度で進捗を報告し、先輩や教員からのアドバイスを受けます。12月中頃には解析作業を終え、1月は本文の執筆に専念します。

過去の卒業研究

- ☑大規模商業施設と歩数の関係
- ☑地方都市における商業施設への近接性
- ☑空き家所有者の活用意向と管理強度
- ☑商業集積地への雨天時の来訪
- ☑母子世帯の居住地選択
- ☑鉄道駅付近での自転車盗
- ☑近隣住環境と中高齢者の歩数



進行中の研究テーマ・各教員からのメッセージ

樋野 公宏 准教授

主な研究テーマのひとつは**身体活動を促すまちづくり**で、全国の大規模歩数データを用いた研究、小学生の通学環境に関する研究を学際的に進めています。社会活動として、高島平、川口駅および竹ノ塚駅周辺のウォーカブルなまちづくりに関わっています。

もうひとつは**犯罪の起こりにくいまちづくり**で、東京、神奈川、福岡の各県警からデータ提供を受けて共同研究を行っています。足立区のアドバイザーとして、防犯ボランティア活動の定量的分析や施策提案も担っています。

西 颯人 特任講師

統計学や経済学を学問的な基礎として、都市にまつわる幅広い現象を研究対象としています。主に**住宅・不動産の価格や賃料**を通して都市を俯瞰するデータサイエンス的な研究や、地理空間上での解析を行うための**統計的な理論と方法の開発**を行っています。直近では、統計・機械学習の技術を用いたまちの評価の分析を始めています。

都市解析には、都市の現状と理論の双方に対する深い理解が必要です。皆さんもこの挑戦的な分野に飛び込んでみませんか？

貞広 幸雄 教授

都市を対象とする空間解析、特に、探索的空間解析に取り組んでいます。探索的空間解析とは、空間現象を記述するデータを解析することにより、現象の背後にある構造を探ろうとするものです。

近年は、スマートフォンから取得した移動軌跡データ、ビーコンによる屋内測位データ、スポーツなどで用いられるビデオトラッキングデータなど、新たな技術を利用した様々な空間データが利用可能です。これらを用いた、新たな研究課題を進めています。

長谷川 大輔 特任講師

車や公共交通機関、スマートフォンから得られる移動軌跡データ、各種空間情報データを活用し、

- 都市における**ヒトやモノの流れを把握するための計測手法**
 - 公共交通の路線網・ダイヤを最適化するための、ヒトやモノの流れを適切に**流暢にする手法**
 - 都市の賑わい創出・対面の交流の効果を分析する、ヒトやモノの流れを適切に**滞留させる手法**
- といった都市の流動の計測・制御に関する研究に取り組んでいます。



私たち関係教員もサポートします！

空間情報科学研究センター(CSIS) 浅見泰司 特任教授・山田育穂 教授